

権力を告発する！

2016/12/ 1
No.002

公安警察による全学連大会襲撃弾劾！
告訴・国賠ニュース

発行：全学連救対部
03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp

霞ヶ関・弁護士会館での記者会見(11月30日)

告訴・国賠スタート！ 記者会見に10社が参加し大成功！

11月29日の告訴状提出と国賠提訴完了を受け、11月30日に弁護士会館で記者会見を行いました。記者会見には代理人弁護士とともに、告訴人兼原告である作部羊平全学連書記長と斎藤郁真全学連委員長が出席。10社のマスコミが駆けつけました。

斎藤郁真全学連委員長は「『3・11』以降、多くの人々が立ち上がる中で、国家権力は民衆への監視を強めている。告訴と国賠で公安警察の襲撃事件を全社会的に暴露し、闘

えば勝てることを示したい」と語りました。

作部羊平君(京都大学同学会委員長)は、「昨年京都大学で反戦ストライキを闘った。国家権力は僕を含む6名を『威力業務妨害』で逮捕した(23日間の勾留を経て全員不起訴で釈放)。学生が行動することを絶対に認めない公権力を断罪して闘う。絶対に勝ちたい」と表明。質疑応答を挟んで、代理人弁護士全員が裁判闘争に向けての決意を語り、集まったマスコミに裁判への注目を訴えました。

特別公務員暴行陵虐罪で公安を告訴！

告訴主任弁護士・藤田正人さん

11月29日午前11時過ぎ、東京地方検察庁に告訴状を提出しました。告訴人は作部君ら5名。被告人は15名の警視庁公安部公安第一課に所属する警察官です。

罪名罰条は「特別公務員暴行陵虐罪」(刑法195条)、「特別公務員職権濫用致死傷」(同法196条)、「共同共犯」(刑法第60条)です。

今回の事件は映像を見ていただければ分かりますが、公安警察官が一方的な暴行をふるっていることは明らかなです。検察庁に正式に受理させて闘っていきます。

【11月30日の記者会見での発言要旨】



集会・結社の自由の侵害を許さない！

国賠主任弁護士・森川文人さん

東京地裁に国賠等提訴が完了しました。担当は東京地裁民事第31部です。事件番号は「平成28年(ワ)第40138号」です。原告は告訴人5名に全学連(代表者・斎藤郁真)が加わっています。各自200万円の慰謝料請求を求め、東京都(小池百合子都知事)と15名の公安警察官を被告として訴えました。

全学連大会を公安警察官が物理的に破壊するということは、憲法21条の「集会の自由・結社の自由」の侵害であり、前代未聞の事件です。ご注目をお願いします。

【11月30日の記者会見での発言要旨】



公安警察による襲撃弾劾!



全学連に暴行をふるう公安警察 学生は衣服を破られ、ケガを負った

告訴×国賠へのご支援を!

公安警察15名を訴えます!



星 隆夫(警視)



芝 拓臣



遠山 信次



岡野 直人



山本 清仁



西澤 雄



中山 幹也



吉徳 健太郎



佐藤 敦



古畑 直哉



紺野 正敬



警察官 A



警察官 B



警察官 C



警察官 D

全学連大会襲撃事件とは?

今年9月1日～2日に都内で開催した全学連大会の会場前で、公安警察が参加者に対し暴力的な襲撃行為を行った事件。公安警察は、「参加者のメガネや帽子をはぎ取って奪い去る」、「胸倉をつかんで殴る」、「地面に引き倒す」、「首を締め上げる」などの白昼公然たる暴行におよび、暴行をやめさせようと体を張って止めた参加者たちにはそれ以上の苛烈な暴力をふるいました。

公安警察による全学連への襲撃こそ、国家の姿であり、安倍政権の戦争政治そのものです。

カンパのお願い

全学連は安倍政権の戦争政治との最先端の攻防として、告訴・国賠闘争を最強の弁護団とともに闘いぬきます。裁判にあたって、弁護士費用含め多額の費用がかかります。

ぜひとも、全学連に圧倒的カンパをよろしくお願いします!

(郵便振替) 00190-0-766112

「全日本学生自治会総連合」